

■ イベント開催状況

'13男女共同参画市民フォーラムinいわみざわ

『創ろう 新たなかたちに 風はあなたから』

平成25年10月8日(火) 岩見沢平安閣において、「いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議」の主催により、男女共同参画市民フォーラムが開催されました。

本年度は、前静岡県立吉原高等学校校長の奥山 和弘(おくやま かずひろ)先生を講師にお迎えし、なじみ深い昔話を用いて「男らしさ」「女らしさ」の枠組みを見つめなおすお話をさせていただきました。

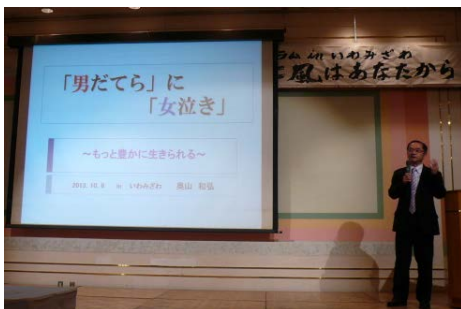
講演の前には、北海道教育大学岩見沢校音楽コース大学院生3名によるオープニングコンサートを行いました。

■ オープニングコンサート

ピアノとフルートによる優しい音色の演奏に合わせて、澄んだソプラノの歌声でアヴェ・マリアや赤とんぼなど、4曲をしつとりと歌い上げました。会場は一気に盛り上がり、素晴らしいコンサートに酔いしれました。



■ 講演「『男だてら』に『女泣き』～もっと豊かに生きられる～」



◆ 終始笑いにあふれた講演会

初めに、マンガのセリフ入れクイズから講演会は始まりました。来場者の方々は、思い思いのセリフを吹き出しに書き込んで、早速会場は楽しい雰囲気になります。正解発表と同時に笑いが沸き起こり「間違えた」「正解したわ」との声がちらほら聞こえました。

楽しい雰囲気で行った講演会は、終始和やかで笑いのあるものでした。

◆ 枠組みを見直してみよう

奥山先生は昔話のパロディを用いて、また、ご自身の子育てや家庭生活での体験など身近な話題をもとに、大変分かりやすく男女共同参画についてお話くださいました。

「男らしさ」「女らしさ」という無意識の思い込みが作り上げた枠組みが人の中にはありますが、この枠組みが社会に強く存在すると個性や能力を発揮する機会を失い、男女共同参画が目指す「性別に関係なく多様な活動が選択できる社会」が阻害されてしまうとのことでした。

一人一人の個人差をなくし、あるべき姿を固定化する枠組みというものを、今一度見直してみまじょうと、奥山先生は呼びかけられました。



☆フォーラム参加者の声

○男女共同参画のことがとても良く分かるお話でした。かたいお話ではなく、楽しく聞かせていただきました。ありがとうございました。

【50代女性】

○教育大学の演奏が、昨年同様良かったと思います。講演も、マンガ等を利用されたことなどで説明され、理解しやすく思われます。

【60代男性】

○経験した者でなければ感じ得ないお話でした。ホッコリ昔を思い出しました。【70代以上】

○講演前のコンサートはいつも楽しみにしております。今日も心にしみる歌声とフルート、ピアノの音に酔いしれました。講演もとても楽しく夫と一緒に聞きたかったです！【60代女性】

○各々の認識がまだ一致していない所が難しい面である。定年後の夫婦、地域内において少しずつ理解をしながら満足する暮らしをしていきたい。若い世代の方が適材適所を実践しているかもしれない。

【60代】

○講演が良かった。具体的で面白かった。最後の余談（子育てについて）が特に面白かった。【60代男性】



合言葉は
「適材適時適所」！

